

地球温暖化防止活動推進員の活動を支援しています

～平成 30 年度 スキルアップ研修会～

11 月 5 日にホテルレイクビュー水戸において推進員スキルアップ研修会を開催しました。3 部構成で、今年 12 月に施行される「気候変動適応法」についての講話、LEGO®ブロックを活用したワークショップの開催、そして関東ブロック推進員等合同研修会に参加した推進員からの結果報告と盛りだくさんの内容となりました。この研修会は、活発な意見交換を通じた情報共有と推進員のスキルアップを目的としたもので、市町村職員を含め約 80 名の参加があり、会場が一杯になりました。

第 1 部では、「気候変動適応法を学ぼう～温対法と適応法に基づく地球温暖化対策活動の位置づけ～」と題して、環境省関東地方環境事務所環境対策課地域適応推進専門官の川原博満氏の講演がありました。

最初に、地球温暖化の状況と将来予測の説明があり、続いて、緩和策の世界の動きと我が国の対応について説明がありました。

最後に、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出削減対策である「緩和」と車の両輪である「適応」について、気候変動適応法が今年 12 月に施行され、被害を回避・軽減する各種対策について、国や都道府県で取り組んでいる事例をあげて説明いただきました。

第 2 部では、「LEGO®ブロックを活用したSDGsワークショップ」と題して、子ども国連環境会議推進協会事務局長の井澤友郭氏によるワークショップを行いました。

今回は、LEGOブロックを使ったワークショップに取り組みました。

ポストイットや模造紙に書いた文章については、その意味を聞くことは少ないが、レゴブロックで作ったものは、わかりあえていないことからコミュニケーションが始まり、問うことのハードルが下がるので、レゴブロックを使っているということでした。

そして、第 3 部は、川村優一、佐藤すみ子地球温暖化防止活動推進員から、9 月に開催された関東ブロック推進員等合同研修会に参加した結果の報告がありました。



気候変動適応法について学びました



レゴブロックを使ってのコミュニケーション